

「ウマ娘 プリティーダービー」から、「キタサンブラック」。ディーラー (CREA MODE)はいつも「ウマ娘」を発表していましたが、その新作のひとつ。今回のワンフェスでも特に人気が高いディーラーで、撮影を含めた行列も終日途切れませんでした。

※「」=原作タイトル名
「」=商品名
()=ディーラー名

「Fate/Grand Order」は毎回新サーヴァントが話題になります。今回の新顔としては「オベロン」を各所で見かけました。写真は(Daisy Bell)のもの。

「Fate」シリーズが1位になる前は当日版権許諾数1位をキープしていた「艦隊これくしょん -艦これ-」は、定番作品として作り続けられています。写真は「アトランタ」(ほんだら商会)。

「アズールレーン」は当日版権以外に、独自の二次創作規定があり通販も行えるなど、ディーラーにとってもありがたいタイトル。セクシーな衣装の多さも人気の一因でしょう。写真は「レースクイーン 大風」(チェリープロッサム)。

キャラ別に分かれての申請になるために、データ上には上がってこないのですが、Vtuberのフィギュアは当日版権もメーカーもかなり増えています。これからの要注目ジャンルといえるでしょう。写真は「名取さな」(アリスとsaiの工作部屋)と、「沙花又クロエ」(ZP1)。

ワンダーフェスティバル 2022 [夏]アフターレポート

Wonder Festival 2022 [Summer] After Report

文/鳥谷光弘(ホビーマニアックス) / WF 実行委員会 Text by Mitsuhiro Shimatani [Hobby Maniax] / Wonder Festival Project Office



新型コロナウイルスの蔓延のために2年ぶりの開催となったワンフェス2022 [冬] から半年、夏ワンフェスとしては3年ぶりに開催されたワンフェス2022 [夏]。さまざまなデータを交えつつ、その様子をまとめてみましょう!

参加者数

まず今回の入場者数ですが、21094人。ワンフェスのピークの入場者数の5万人と比較すると半数以下なのですが、前回は13160人だったので1.6倍に増えているのです。ワンフェス直前からコロナの感染者数が急増していたにもかかわらず、この数字はなかなかの結果。さらに、会場での滞留時間も長いようで、閉場間際までかなり賑わっていました。

ディーラー

ディーラーは1427組のディーラーが参加。一番多いときは2000組ディーラーを超えていましたが、密を避けるために通路等のスペースを広くとったことも影響しています。なお、事前にキャンセルしたディーラーは113組でした。前回は事前キャンセルが487組で、参加ディーラーは1000だったので、大幅に増加しています。キャンセルの理由も前回と違って実際にコロナにかかった、濃厚接触者になった等、具体的な理由が多く目に付いたように思います。

ディーラースペースはかなり盛況で、ディーラーさんと話していても、今回は売れ行きが良かったという声もあちこちで聞くことができました。

ステージ

メーカーを中心とした1~3ホールもかなり様変わり。

1ホールはフードエリアとオフィシャルステージが占めています。フードエリアにはこれまで以上にバラエティに富んだメニューが並び、ちょっとしたグルメ気分が楽しめるようになっていました。オフィシャルステージも、ライブやトークショー、公開収録などさまざまなプログラムが用意されています。ステージや着席できる観覧席も大きめで、これまでのワンフェス内イベント以上に本格的な仕様です。



ステージ「機動警察パトレイバーぶっちゃけトーク!」には、メカデザインの出淵裕氏、アートディレクションの田島照久氏、さらに宮脇センムが登場。最新情報に加えて、一般公募で集めた作品でブースを作る「幕張国際レイバーショー」の告知もされました。https://wofes.jp/info/#info6940



「夏だ!フィギュアだ!ワンフェスベテランステージ from 声優と夜あそび」には安元洋貴氏と徳井青空さんが登場。フィギュアにまつわるトークがくりひろげられました。



「SayaXセムM」Aisベテランインタビュー」という、セムがCGキャラクター「Saya」と語り合うというユニークなイベントも。https://www.telyuka.com/saya

当日版権

この数年、当日版権申請数は「Fate/Grand Order」の人気で「Fate」シリーズが圧倒的1位だったのですが、今回のワンフェスではついに新たな作品が1位に! それは「ウマ娘 プリティーダービー」シリーズ! 現在ゲームもアニメも声優さんのライブも大人気。最も注目されているタイトルだけに、やはりそうだったかというところ。ゲームでは新ウマ娘や新衣装が続々と登場中なので、まだまだこの人気は続きそうです。

2016年夏頃から1位をキープしていたのがついにその座を明け渡した「Fate」シリーズ。とはいえ、7周年を迎えたアプリゲーム「Fate/Grand Order」の人気は根強く圧倒的。この夏も魅力的なサーヴァント



「ウマ娘 プリティーダービー」では、ライブシーンのウマ娘を多数並べたディーラー(秋山工房)のようなディーラーも。



最大手ディーラーのひとつ、(クリスリー/ウタ)は「Fate/Grand Order」のサーヴァントを多数発表。こちらも終日行列が絶えませんでした。

が数多く新たに登場しているの、これからも当日版権での人気は続きそうです。

3位以下は「ウルトラマン」「ゴジラ」という、ワンフェス最初期から人気の根強い特撮タイトルが並び、他にも近年すっかり定番になっているタイトルが続いています。

ただこの中に、いつも人気上位に名を連ねていた「ガールズ&パンツァー」がないのは少しさみしいところ。現在は「ガルパン」公式イベントの自粛が続いているためワンフェスでの当日版権も許諾見送りとなっていますが、状況が変わっていつかワンフェスに「ガルパン」が再登場する日が来るのを楽しみにしたいところです。

メーカー

各メーカーのブースではそれぞれ多様な新作フィギュアを発表。フィギュアの価格は年々高くなってきているということもありますが、全体的に大スケールだったり派手なベースが付いたり、価格に見合った仕様になっているものが増えています。



KADOKAWAブースでは、電撃文庫とKDColleの造形大賞の告知も。これは一般公募の造形コンテストで、対象はデジタル造形のみ。アナログNGというところに時代の流れを感じます。



ワンフェスのようなリアルイベントならではの、等身大や実物大フィギュアも会場のおちらこちで見かけました。写真は順番にワンフェス初出展のCosTeam「1/1 タチコマ」と「ホワイトグリンツ」、1/1 ONE SLASH(ワンスラッシュ)の「ソフィーのアトリエ2 ~不思議な夢の錬金術士~ ソフィー 等身大フィギュア」、F.NEXの「ナナチ 1/1スケール 等身大フィギュア」。



会場風景あれこれ

他にもワンフェスならではの光景や、新しい試みや目新しい光景など会場のあちらこちにさまざまな風景が。



マスコットキャラの「ミャクミャク」も大きな話題の万博コーナーも。



造形を知る、楽しむための体験コーナーには、ジオラマ体験教室や髪の毛造形教室、塗装体験などがありました。終日大人数で塗装体験は最大2時間お待ち! なお、このコーナーは関東学生模型連合という大学生の模型団体の学生さんたちもお手伝いをしていました。



今回は日清食品の「カレーメシ」とのコラボも展開。今までのワンフェスではなかった形の企業協賛ブースです。「日清食品 カレーメシ サンプリングコーナー」では数量限定で、今話題の「完全メシ カレーメシ 欧風カレー」が無料配布されて大人気! カレーメシも登場していました。さらに体験コーナーではカレーメシの塗り体験も行われていました。

まとめ

ディーラーやメーカーの会場の雰囲気、お客さんの流れや滞留時間など、コロナ前とまではいかないまでも、かなり活気づいてきていますし、ワンフェスそのものもさまざまな試みによって、新たなイベントの方向性を探っているという感じだった今回。

造形イベントということではオンラインでの当日版権イベントやメーカー主催イベントが頻りに開催されるようになり、メーカー独自でのリアルイベントも行われるようになってきています。ですが、さまざまなジャンルを扱うメーカーと数千のディーラーが一堂に集まるワンフェスという場はやはり唯一無二のもの。フィギュアは実際に実物を目の前で見ることが何より。

このコロナ禍を乗り越えての、ワンフェスの今後にもご期待下さい!